

報告◇(株)勅使川原精麦所見学 ◇9月15日(金) 佐野市

「うれしいぬか床」でおなじみの勅使川原精麦所さんへ、ぬか床作りについての勉強と実際にぬか床作りの体験を行いました。

こちらのぬか床の材料は「ぬか・塩・水」のみ。シンプルで余計なものは入っていません。米ぬかは稲葉光國さんが代表の民間稲作研究所にて学ばれた生産者さんの有機認証を受けた玄米で、精米したての新鮮なものです。生ぬかはとても甘い香りが印象的でした。塩は石川県の沖合、舩倉島の海水を低温(40℃位)で時間をかけて乾燥させた「わじまのお塩」です。

試食でいただいたぬか漬は定番のきゅうり、なすの他に「エリンギ」が初めての味でした。

自分でぬか漬を作るのは難しそうと思いがちですが、「うれしいぬか床」でもっと手軽にぬか漬作り挑戦してみたいと思うような体験でした。

(まんまの会)



報告◇みんなで「蔵の街」を散策しました ◇10月17日(火) ◇みんなでピラティスを楽しみました ◇11月17日(金)

当日朝から冷たい雨でしたが、組員5名、一般1名の参加がありました。今回案内して頂いたのは、栃木市観光協会ボランティアガイドの竹村さんです。

実は、竹村さんもよつ葉の組員さんでした。「とちぎ山車会館」では2年に1度の「とちぎ秋まつり」の模様を鑑賞。「とちぎ蔵の街美術館」「横山郷土館」「塚田歴史伝説館」など歴史ある見世蔵や土蔵を見学し、「県庁堀」で栃木市の歴史や、栃木市出身の文化人「山本有三」の作品「路傍の石」にも触れ、豊富な知識と多彩なお人柄の竹村さんのおかげで、途中には雨も上がり、楽しい散策ができました。

栃木市を中心に活躍されている「PFA ピラティスアドバンスインストラクター」の羽田明子さんを講師に迎え、大人13名、子ども5名でのイベントとなりました。

初心者向けのピラティスの運動を教えて頂き、最後は「シナプソロジー」という脳活性の運動を皆で行い、体も頭も楽しくほぐすことができました。

(栃木地区委員会)



報告◇みんなで季節のお花を寄せ植えしました ◇11月22日(水) 栃木市・小田垣園芸

2017年11月22日(水)「くらら」でおなじみの小田垣園芸にて、寄せ植えを行いました。小田垣園芸では、有機物を園主の小田垣さんの愛情と一緒に数年間熟成させ、完熟で安心な土づくりを行っているそうです。こだわりの土はフカフカで栄養たっぷり。育った花はとてもみずみずしく、発色もとても豊かでした。色とりどりのパンジーや、スノーボール、ビオラ、葉牡丹などの、小田垣さんがご用意してくださったプランターに、思い思いに寄せ植え。

「溢れる程詰めて帰ってください」と、太っ腹な園主の小田垣さん。そんな言葉に甘えて参加者の皆さんも、あれもこれもと創作を行いました。

「土づくりの秘訣」や「プランターでのお野菜作りのコツ」など、寄せ植え以外の質問にも快く答えてくれる小田垣さん。

Q. 土づくりの秘訣はなんですか？

A. 菌の働きに任せる事、有機物を完熟させるために3年熟成させています。

Q. プランターでのお野菜作りのコツはなんですか？

A. 一つにはプランターの大きさ、色々試行錯誤をして今の大きさ「9号(直径27cm×高さ30cm弱)」を使っています。

園内には、お花以外にも、大根・トマト・ピーマン・ナスなど沢山の野菜も栽培され、また元気な野菜を育てるための試行錯誤の跡が伺えました。

園主の雰囲気と同じように、のんびりとほっこりする小田垣園芸、皆さんも是非訪れてみてください。

(鹿沼地区委員会)

